

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

授業の様子はいかがでしたか

新型コロナウイルス対策として3密を防ぐことから、5月末に学校が再開して以来なかなか授業の様子を参観していただくことができずにおりました。今回、3日間に分け、午前中日課をすべて使い、各学年の授業の様子を見ていただく機会をもつことができました。一時間、1名と制限もつけさせていただきました。ご協力ありがとうございました。お子さんの様子はいかがだったでしょうか。機会がありましたら、ぜひご感想等お聞かせください。今後も感染防止を考えながら、少しずつ児童の様子を見ていただく機会をとっていきたいと考えております。



児童会選挙活動が行われています

今学校では、来年度の児童会役員を決めるための児童会役員選挙活動が進められています。5年生から7名、4年生から4名、計11名が会長、副会長、それぞれのポストに立候補し、挨拶や清掃をはじめとする生活づくりへの取組、集会活動や仲間づくりについての取組など、自らの考えを全校児童に訴えております。またそれを支える周囲の児童も、それぞれができる応援を考え取り組んでいます。この活動によって、4・5年生を中心に、これから学校を支えていこうという意識がぐっと高まることでしょう。また、6年生もそれを見守り、自分たちの思いを届けているように感じられます。誰が当選しても、力を合わせられる素敵な児童会本部が作られていくことでしょう。



辺りはすっかり紅葉のシーズン、スポーツの…

連日新型コロナウイルス対策に頭を悩まされているうちに、いつの間にか季節は秋から初冬へと移ろうとしております。近くの山々、校庭の木々を見てもきれいに色づいております（枯葉の処理が大変ですが）。紅葉狩りやハイキングによい季節でしょうか。週末はコロナ対策を十分にしておいて、すがすがしい空気でも吸いに出たいものですね。

ところで学校では体育委員会が中心となって「体力アップチャレンジカード」を使った体力づくりに挑戦しています。また、児童会活動「百田小ギネス2020」として、縄跳びにも取り組んできました（とてもよく練習しています）。これから寒くなると外に出るのに勇気が必要となりますが、病気に負けない強い体づくりを目指しましょう。



正しい理解のために、相手にたずねてみましょう

人間心理をたくみについた、こんな話があります。風呂屋のエントツの中を二人の子どもが降りてきました。一人は顔が真っ黒で、もう一人は少しも汚れていません。エントツから出てきた二人は、お互いの顔を見ました。そのあと二人のとった行動はというと、顔を洗い出したのは顔が汚れていない方の子どもで、汚れている子どもの方は洗おうとしません。さて、どうしてなのでしょう？

答えはこうです。顔が汚れていない子どもの方は、もう一人の真っ黒な顔になった子どもを見て、いっしょに降りてきたのだから当然自分も汚れていると考え、顔を洗いに行ったのです。顔が汚れている方が洗わなかったのは、その子が見た方の子の顔が汚れていなかったで、自分もそうだと思ったからなのです。



いわれてみれば何でもないこと。だれでも答えられる問いなのです。では、なぜ私たちは簡単にこの問いに答えられるのでしょうか。それは二人の子どもの心理を第三者の立場から、客観的に見られる有利な位置にいるからなのです。しかし、問題に出てきた子どもたちには、「君たちの行動はおかしいよ」と教えてくれる人はいません。それでも、それぞれ相手の行動を「おかしいな」とは思ったはずで、顔のきれいな方は、「あいつは、顔が汚れているのになんで洗わないんだろう」と疑問に思っただろうし、もう一人は、「あいつは、なんのために顔を洗っているんだろう」と不思議に思ったことでしょう。この二人のおかしな行動は、要するに**お互いに相手の行動を疑問に感じながら、それについてなにも聞かなかったところに原因があるのです。**

こうしたことは、われわれの日常生活でもけっこうあるのではないのでしょうか。相手のすることや言うことに、「おかしいな」と思いながら何も聞かずにいる。これが相手をおかしな“色メガネ”で見る原因にもつながるのです。先の子どもでいえば、「あんなに顔が真っ黒なのに洗わないなんて、なんて不潔なヤツだ」というわけなのです。



こちらがおかしいと思っても、相手はそのおかしさに気づかないことはけっこうあるものです。相手の言動、考え方などでおかしいと思ったことや、疑問に感じたことがあれば、すぐに相手にそれを伝えてみる。ひと言、「なんでそんなことをするの？」などと聞いてみるだけでも、相手を“色メガネ”で見てしまう危険を防ぐことにつながるのではないのでしょうか。

何事も決めつける前に、コミュニケーションをとりましょう。学校と家庭とが、いつもこのように風通しが良くなることを祈っております。今後も気になることがありましたら、「変だな！」などと言いつつではなく、少しでも早いうちに連絡を取り合い、一緒に解決の方法を考えあいましょう。今まで以上のご協力をお願いいたします。

※11月30日より個別懇談が始まります、児童を中心に忌憚のないご意見をお願いいたします。